

東京都立上野高等学校 令和7年度 学校経営報告

[文中にパーセンテージで示した数値は、特に断りのない場合は、学校評価アンケート（生徒対象）において「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に回答した生徒の割合を合計したものである。]

▼ 令和7年度 of 取組目標等における自己評価と次年度以降の改善の方向性

(1) 学習指導

- 授業満足度は78.7%、授業、土曜講習、長期休業中の講習、校内予備校等受験対策指導満足度は76.9%でわずかに目標値に達しなかった。スタディ・サプリ活用状況対前年度比は、1年生138%、2年生194%と大幅に増加したが、3年生は91%にとどまった。
- 家庭学習時間（授業以外の学習時間）は、3年生は目標値を大幅に超えたが、1、2年生は目標値に届かなかった。また、学校評価アンケートでも「学年プラス1時間」の自主学習時間肯定的回答は43.0%と低調であった。自主的な学習を促し、授業以外の学習時間を伸ばさせていくことが課題である。
- 大学入学共通テストにおいては、受験者10名以上の教科・科目において、18科目の校内平均点が全国平均点を上回り、うち「英語リーディング」、「歴史総合、日本史探究」、「公共、政治・経済」、「物理基礎」、「生物基礎」で7割以上得点者が全受験者の6割を超えた。しかしながら、6教科受験かつ総合得点率7割以上の3年生は18名と昨年度から大きく数字を落とした。振るわなかった各教科においては、大問ごとの得点率を精査するなどして原因を検討し、次年度以降の指導の改善を図る。
- 「GE-NET EE」と「海外学校間交流推進校」の指定を活かした英語教育を推進し、ニューヨーク海外派遣研修に4名、エジプト大使館訪問に48名、留学生との交流会に35名の生徒が参加した。海外派遣研修と次世代リーダー育成道場帰国生徒による全校生徒向け報告会を行った。次年度のニュージーランド海外交流体験旅行の計画を策定し、2月上旬に生徒・保護者説明会実施後募集を開始する。
- 海外学校間交流推進校の指定による英検全員受験を実施した。準1級は27名、2級は280名の合格者を出した。次年度は、準1級の合格者を増加させること及び不受検者を減らすための英語科の組織的指導を進めていく。
- 「理数研究校」の指定を活かし、慶應義塾大学先端生命科学研究所長を招聘した講演会を実施し、生徒22名が参加した。この他にも、生物探究合宿、里山フィールドワークなどを実施した。今後も、生物分野の調査活動や観察・実験などの教育研究活動を推進し、理数教科への興味・関心と優れた資質をもつ生徒の裾野を拡大するとともに、総合型選抜等に接続する指導によって、生物分野での進学者増加につなげていく。
- 指名制の授業研究に延べ3名の教員が参加した一方、指導教諭模範授業、研究開発委員等の授業参観に延べ26名が来校した。校内でも教職員相互の授業見学や校内研修を通して授業力の向上を図った。次年度以降は、校内相互授業見学期間を延長するなど改善を図る。

▼ **数値目標** (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合)

項 目	5年度実績	6年度実績	7年度実績
学校評価アンケートで「上野高校の授業は、進度やレベルが生徒に合っていて学力向上につながるので満足している」とする生徒の割合	今年度から目標設定		78.7%
大学入学共通テスト6教科受験かつ総合得点で7割以上得点した第3学年生徒数	21名	41名	18名
第3学年生徒の家庭学習時間(2学期中の平均)	268.0分	297.6分	330.0分
第2学年生徒の家庭学習時間(2,3学期中の平均)	100.4分	117.2分	107.6分
第1学年生徒の家庭学習時間(2,3学期中の平均)	79.7分	86.1分	86.0分
学校評価アンケートで「上野高校は、国際交流の推進や英語4技能の育成に力を入れている」とする生徒の割合	今年度から目標設定		71.9%

※ 家庭学習時間は、3年生は2学期中、1,2年生は2・3学期中の平均。進路調査での回答時間を(平日の家庭学習時間の平均×5日+休日の家庭学習時間の平均×2日)÷7日間 で計算している。

(2) **進路指導**

- 学年担任団と進路指導部、管理職との第一志望リスト及び現時点での合格者リストの共有を継続し、最後まで志望をあきらめさせない指導やケース会議に基づく出願指導を継続し、現役合格者数は、国公立大学48名、難関私立大学延べ42名、GMARCH延べ201名である。約30年ぶりに国公立大学医学部に現役合格者を出したのは特筆すべきことであるが、国公立大学現役合格者数が約2割減少したことは課題である。次年度は、進路指導部・学年が中心となって各教科との連携を図り、より高い目標を維持させるよう継続的で組織的な指導を行い第一志望進路実現を目指す。
- 進路指導情報提供満足度は生徒78.3%、保護者70.2%、進路面談満足度は生徒74.7%、保護者50.8%と保護者の満足度が低いのが課題である。特に、進路面談については、3年生に比べて1,2年生が低く、三者面談の機会増加を望む自由意見が複数あった。次年度は、「面談カード」を年度当初に示すことにより、担任による差異が出ない組織的な面談指導を行っていくとともに、生徒・保護者に向けて年間予定を踏まえた面談指導が行えるよう工夫改善を図る。
- 総合型選抜及び学校推薦型選抜による合格者数は、国公立大学3名、難関私立大学6名、GMARCH13名であった。船舶、建築、住居、デザイン系など生徒の興味・関心や将来の職業・資格に直結する分野に合格者を出した。特に東京海洋大学海洋工学部、

上智大学文学部新聞学科、東京理科大学工学部建築学科に合格者を輩出したことは特筆できる。英検等資格利用での合格者は7名であった。今後さらに英検等資格利用者を増加させるとともに、「総合的な探究の時間」と進路行事や選択科目説明会等とを連関させることにより、総合型選抜受験生徒への指導体制の充実を図る。

- 2年生1月時点での第一志望校は、国公立大学118名（うち難関10大学16名）、難関私立大学40名、GMARCH78名であった。今後も国公立大学への志望をあきらめさせない指導を継続していく。
- 「総合的な探究の時間」の生徒満足度は69.4%とほぼ目標値を達成した。「上野学」の内容や方法について、地域人材を活用したものに改善し学校内外で幅広く連携するものとしていく。

▼ **数値目標**（アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合）

項 目	5年度実績	6年度実績	7年度実績
国公立大学（大学校含む）現役合格者数	42名	55名	48名
難関私立大学（早稲田・慶應義塾・上智・東京理科・ICU）現役合格者延べ数	43名	34名	42名
私立大学（GMARCH）現役合格者延べ数	228名	200名	201名
学校評価アンケートで「上野高校での「上野学」などの探究活動は、自分の将来の生き方や学びたい学問について主体的に考えることができる」とする生徒の割合	今年度から目標設定		69.4%

(3) **生活指導**

- 生活指導について、「社会性や公共性を学ぶ機会となっている」とする生徒の割合は72.6%、「生活指導を通じて、規範意識が高まっている」とする生徒の割合は69.8%といずれも昨年度を下回り目標を達成できなかった。また、「生徒の理解や納得を得られている」とする生徒の割合は63.8%、保護者の割合は53.3%であった。社会性や公共性、規範意識を高めることとともに、理解や納得感を得られるよう工夫していく。

▼ **数値目標**（アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合）

項 目	5年度実績	6年度実績	7年度実績
学校評価アンケートで「上野高校の生活指導は、社会性や公共性を学ぶ機会となっている」とする生徒の割合	68.2%	77.4%	72.6%
学校評価アンケートで「上野高校の生活指導を通じて、規範意識が高まっている」とする生徒の割合	64.5%	74.6%	69.8%

(4) 特別活動・部活動

- 学校生活満足度は、81.7%で目標値を達成した。生徒の学年進行に伴い低減するのが課題である。学校行事満足度は78.7%、部活動満足度は78.3%と目標値には届かなかったが、8割近い生徒の肯定的回答が継続している。

▼ 数値目標 (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合)

項 目	5年度実績	6年度実績	7年度実績
学校評価アンケートで「上野高校での学校生活は、充実し満足している」とする生徒の割合	75.0%	80.1%	81.7%
学校評価アンケートで「上野高校の運動会や東叡祭などの学校行事は、活発で充実している」とする生徒の割合 (昨年度から文言一部修正)	79.9%	81.0%	78.7%
学校評価アンケートで「上野高校の部活動は、活発で充実している」とする生徒の割合 (昨年度から文言一部修正)	78.5%	80.5%	78.3%

(5) 健康・安全教育指導

- 教育相談体制に係る肯定的回答は生徒76.7%、保護者62.7%であった。スクールカウンセラー3名体制で予約に対応できる体制を維持できたが、保護者への周知と満足度が若干不足していたのが課題である。
- 東京都保健医療局と連携したセーフティ教室や避難訓練を5回実施し、安全や災害に対する意識を高めるとともに、防災教育推進委員会において地域と連携した防災教育を検討する。
- 「薬物乱用防止高校生会議」は有志生徒13名が、10回の会議と活動成果発表の東京大会（都庁第一本庁舎大会議場）に参加した。また、都内全高校1年生に配布されるリーフレットの作成と活動成果報告書が発刊される予定である。

▼ 数値目標 (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合)

項 目	5年度実績	6年度実績	7年度実績
学校評価アンケートで「上野高校では、教員やスクールカウンセラーなど悩みを相談できる相手や機会が適切に備わっている」とする生徒の割合 (昨年度から文言一部修正)	63.4%	72.5%	76.7%

(6) 生徒募集・広報活動

- 学校見学会、夏季休業中学校見学会、学校説明会の来校者組数は3217組と昨年度比1.2倍となり、外部説明会に来場した中学生と保護者も微増であったが、中進対第一志望調査の志望予定者数は519名で昨年度比約1割の減少であった。原因を検討し次年度の募集対策に生かす。今後とも「文化の杜 上野」に立地する本校の恵まれた環境や進学指導推進校としての特長や実績を効果的に発信し、第一志望者数の増加を目指す。

- 学校案内パンフレットの大幅ページ増による改訂を実施中である。
- 推薦に基づく選抜の応募倍率は、2.25倍と目標値を大きく下回った。また、文化・スポーツ特別推薦(男子バレーボール)の応募者数も合計5名と昨年度に及ばなかった。一般入試最終応募倍率は1.87倍で昨年度から微減となった。
- 学校ホームページの更新回数は496回で、学校は「情報を積極的に提供・公開している」と肯定的に回答したのは生徒70.8%、保護者77.4%、同じく「学校公式ホームページが充実している」は生徒58.0%であった。学校行事や部活動の状況及び学校見学会や説明会の情報を中心として更なる情報の効果的な発信が必要である。

▼ 数値目標

項 目	6年度選抜実績	7年度選抜実績	8年度選抜実績
東京都中学校長会進路対策委員会による志望予定(第1志望)調査の志望者数	525名 (1.66倍)	572名 (1.81倍)	519名 (1.64倍)
推薦に基づく選抜応募倍率	2.61倍	3.11倍	2.25倍 (144名)
学力検査に基づく選抜最終応募倍率	1.95倍 (491名)	1.91倍 (481名)	1.87倍 (471名)
学校説明会、学校見学会、授業公開、夏の学校見学会、放課後の学校説明会での来校中学生・保護者・指導者等延べ組数	2838組	2665組	3217組
学校ホームページの更新回数	403回	462回	496回

(7) 学校経営・組織体制

- 学習環境(学校施設)に関する満足度は生徒83.8%、保護者75.1%であった。図書館、自習室等のように具体的な施設名を入れたことにより、予想よりも若干高い結果となった。今後も自習室利用生徒数の増加を図るよう工夫していく。
- 校内の施設に関する自由意見に廊下等の照明に関する否定的意見が目立った。教育庁都立学校教育部にLEDへの付け替え等改修を要望していく。
- 現在、本校ではゴミ箱を設置せず、ゴミの持ち帰りを励行するよう指導しているが、ゴミの持ち帰りを含めた校内美化への肯定的回答は生徒65.6%、保護者61.7%であった。自由意見でのゴミ箱設置への生徒の自由意見も多いため、ゴミ箱未設置の利点や指導上の効果をわかりやすく伝えながら、生徒・保護者の要望を踏まえた指導の在り方を検討していく。
- 教員のライフ・ワーク・バランス実現度65.2%、相談できる上司や同僚がいると肯定的に回答した教員73.9%であった。一方、保護者の教員のライフ・ワーク・バランス認知度は35.8%と低く課題である。保護者等への周知方法を工夫するとともに

- に、夏休の完全消化、学校閉庁日の完全実施等により、教職員のライフ・ワーク・バランス推進に向けた意識を一層高めるとともに、男性教員の育業休業取得を奨励していく。
- 個人情報保護に対する意識の向上や教育公務員としてのサービスの厳正について指導を徹底するために、サービス事故防止研修を年間4回実施した。研修以外でも、通常の企画調整会議や職員会議での伝達事項においてサービス事故の情報を逐次提供することにより注意を喚起し、体罰やサービス事故の根絶を目指していく。
 - 会議時間の縮減や資料のペーパーレス化は定着してきた。今後とも、業務の軽減と効率化を図る職場風土を醸成していく。

▼ **数値目標** (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒・教職員の割合)

項 目	5年度実績	6年度実績	7年度実績
学校評価アンケートで「上野高校は、教室、特別教室、体育施設、図書館、自習室等の学習環境が整っている」とする生徒の割合	今年度から目標設定		83.8%
学校評価アンケートで「計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図り、ライフ・ワーク・バランスの実現を図っている」とする教職員の割合 (昨年度から文言一部修正)	58.5%	63.3%	65.2%

以 上